

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	農地中間管理機構に貸付けた農地の面積（累計） (ha)							
1 ・ 1 ・ 1	農地利用集積の推進 農地利用集積推進事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			1,925	2,023	2,121	2,218	2,315	2,800
			実績	1,729	1,911	2,185	2,218				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 既存の38地区の協議会において再配分等を実施し、農地の利用集積・集約を進めることにより、担い手農家への農地の集積及び集約化を図ることができ、目標値を達成することができた。 (指標の算式) 目標年における目標面積を基準として按分した面積（R元年度末時点での農振農用地区域内面積の5割:2,800ha）								
1 ・ 1 ・ 1	ほ場の大規模化に向けた支援 ほ場等整備推進事業	1 目標を達成	指標(単位)	農地中間管理事業で集積された面積の割合 (%)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			26.5	27.8	29.2	30.5	31.8	38.5
			実績	23.8	26.3	30.0	30.5				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 既存の協議会における再配分等により、農地の利用集積・集約を進めることができ、農地中間管理機構に貸付けた農地の面積の増加を図ることで目標値を達成することができた。 (指標の算式) 中間管理で集積された面積ha/農業振興地域の農地面積（R元年度末時点の面積:7,272ha）											

施策 2 農業生産基盤の整備

取組項目 1 ほ場の大規模化に向けた支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	農振農用地区域内の田のほ場整備率（30a以上） (%)							
1 ・ 2 ・ 1	ほ場の大規模化に向けた支援 ほ場等整備推進事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			50	51	51	52	53	55
			実績	51	53.9	55.7	56.1				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 ほ場整備事業は、馬内地区及び道目・細間・北平野地区ともに計画通り進行している。 また、農地の畦畔除去等に係る助成（市単）により、農振農用地区域内の農地約17haのほ場の拡大を達成することで目標値を達成することができた。								

取組項目 2 農業水利施設の老朽化に対する保全・整備

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	多面的機能支払交付金補助対象面積 (ha)							
1・2・2	農業水利施設の老朽化に対する保全・整備 多面的機能支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			600	600	600	620	620	660
			実績	472	589	589	643				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 事業に取り組む37団体(加須地域6団体、騎西地域11団体、北川辺地域18団体、大利根地域2団体)に対して適切な指導・支援を行い、事業実施のサポートを実施した。1団体の新規組織設立があり、事業に取り組む対象面積の増加を図ることができたため目標値を達成することができた。								
・中間管理事業等や土地改良事業等が行われた地域に重点的に制度の周知を行い、新たな活動組織が発足できるよう支援をする。 ・現活動組織に対し、活動面積の増加なども視野に指導・支援を行う。											

施策 3 農地の維持・保全

取組項目 1 農地の維持・管理

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	権利移動により担い手等に集積された面積 (ha)							
1・3・1	農地の維持・管理 農業委員会運営事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			20	20	20	20	20	20
			実績	16	19	18	28				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 定例総会(1回/毎月)において、農地法第3条(権利移動)97件、第4条(自己転用)32件、第5条(転用)222件を審査(R4.4.1~R5.3.31)。法令等に基づき遊休農地、違反転用、適正な農地改良の指導。市内の認定農業者や農地所有適格法人への集積が行われた。								
・地域の農業委員・農地利用最適化推進委員及び事務局等関係者と情報共有することで、速やかに担い手等への農地のあっせんを図る必要がある。											

取組項目 2 耕作放棄地の解消

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	耕作放棄地解消面積(累計) (ha)							
1・3・2	耕作放棄地の解消 耕作放棄地解消事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			3	6	9	12	15	30
			実績	4.3	5.3	9.4	13.4				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和5年3月末市内耕作放棄地面積96.7ha 農家の高齢化等により担い手不足が深刻な状況であり、耕作放棄地を解消し、耕作していく担い手農家を見つけることが難しくなっている。農地法に基づく農地利用状況調査・利用意向調査を行い耕作放棄地(遊休農地)対策を進めるため地域推進会議を開催し、担い手の確保などを検討した。								
・農業従事者の高齢化、後継者不足、相続による不在地主の影響等で作付けされない農地が遊休化している。このような農地を可能な限り再生、有効利用を図るため、担い手農家等への集積(誘導)が必要である。											

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 2 「稼ぐ」農業の確立（農業経営）

施策 1 収益性の確保・向上

取組項目 1 高収益化に向けた支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	中川上流地区営農関係会議の開催回数 (回)							
2・1・1	中川上流地区高収益作物導入推進事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			3	3	3	3	3	3
			実績	2	3	5	5				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 中川上流地区国営事業等推進協議会の幹事会（12/21、1/31、3/17）、第6回営農部会（10/14）、第3回施設部会（10/14）で、高収益作物導入計画の検討や施設整備の維持管理、整備スケジュール等について調整を図った。								
<ul style="list-style-type: none"> 高収益作物の営農計画の具体化や将来的な実現の方法、担い手の同意取得、地元説明の方法などについて検討する。 県営事業等の関連事業で実施することになった排水路（ブロック）に位置付けた高収益作物導入エリアについて、引き続き検討する。 											

取組項目 2 新たな展開への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	6次産業化商品開発支援件数 (件)							
2・1・2	産業チャレンジ支援事業	4 大幅に遅れている	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			5	5	5	5	5	5
			実績	2	2	0	0				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 意欲ある市内中小企業を支援し、地域商業の活性化を図るため、6次産業化商品の研究開発・量産化費用の助成について市ホームページで周知を行ったが、令和4年度は支援件数が0件（相談3件、交付決定1件、取り下げ1件）であったため左記の評価とした。								
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、助成制度の活用を促進するため、周知を図る。 											

施策 2 農産物の高付加価値化

取組項目 1 かぞブランドの育成

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	かぞブランド認定農産物 (品)							
2・2・1	農産物ブランド育成事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			22	22	22	24	24	28
			実績	20	21	23	23				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すため、HP等で認定品を紹介するほか、ふるさと納税返礼品とするなど周知に取り組んだ。また、麦、そば、いちじくの産地化に向けて支援を行うとともに、ブランド化に向けた支援を行った。 かぞブランド認定制度において、未更新が1件あったものの新規認定が1件（合同会社 鳥海農園のシャインマスカット18）あり、目標値を達成することができた。								
<ul style="list-style-type: none"> 市の農産物において、優れた製品があるが、消費者等へその魅力を伝えきれていないのが現状である。「かぞブランド認定制度」の活用を図り、関係団体や生産者等と連携し、農作物のブランド化を推進していく。 											

取組項目 2 農業経営の安定化に向けた支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	経営所得安定対策の国の助成対象人数 (人)								
2 ・ 3 ・ 2	農業経営の 安定化に向 けた支援 経営安定・ 自給力向上 事業	1 目 標 を 達 成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各地域水田協を通して、農業者へ情報提供を行い、農業経営の安定を図る。 収入保険制度の周知支援(市HP、広報誌等)
			目標			382	384	386	388	390	400	
			実績	378	311	421	465					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 国、県が作成した経営所得安定対策に関する制度案内を農業者に配布し、制度の理解を深めるとともに、再生協議会(各地域水田協議会)を通じ、経営所得安定対策制度の加入手続きを行い、制度に位置付けられた各種交付金等を交付した。 経営安定のために助成を受ける農業者(水田活用直接支払い交付金446件、産地交付金322件、畑作物の直接支払い交付金87件)が多く、計画値を達成することができた。									

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 3 多様な担い手の育成（担い手）

施策 1 (株)かぞ農業公社への支援

取組項目 1 (株)かぞ農業公社への支援

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	農業公社への農地利用集積面積 (ha)								
3 ・ 1 ・ 1	(株)かぞ農業公社への支援 農業公社支援事業	2 概ね達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、安定的な経営とともに、セーフティネットの役割を果たすための支援を行う。 これまでの経営状況を踏まえながら、経営の改善、合理的な手法の導入等を図り、次期以降の経営安定を図る。 維持管理作業の計画的執行 畑作の積極的な展開（二期作の導入）
			目標			60	60	60	60	60	60	
			実績	49.5	53.5	53.8	54.1					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 法人化から第9期目を終え、事業実施状況は、春作業7.31ha、秋作業18.36ha、維持管理作業経営面積53.31ha、経営面積 水稲28.88ha、小麦 13.47ha、そば・大豆等16.73haであった。小麦作付け、蕎麦及び大豆等の面積が各期ごとに順調に拡大し収益も順調な伸びで終期を迎えた。 農地利用集積面積が前年度より0.3ha増加し、目標値の90%を達成した。									

施策 2 地域農業を牽引する人材・経営体への重点的支援

取組項目 1 意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	認定農業者数（4月1日現在） (人)								
3 ・ 2 ・ 1	意欲的に経営を行う農業者を支援する制度の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。
			目標			273	276	279	282	285	300	
			実績	270	276	283	287					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 担い手に対し、制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する利子補給実績：上期 42件、下期43件・農業経営基盤強化資金借入に対する利子助成実績：上期2件、下期2件）や国の助成制度による生産効率化の取組等を行う際に必要となる農業用機械・施設等導入費用の一部助成の手続きを行い、1経営体が採択されるなどに取り組んだ。 高齢により再認定を受けない方が増えているが、制度資金の利子補給・利子助成や国等の助成制度を周知等により新規認定者を確保することができたため、目標値を達成することができた。									

取組項目 2 農業経営の法人化の促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	認定農業者のうち法人・集落営農数（4月1日現在） (団体)								
3 ・ 2 ・ 2	農業経営の法人化の促進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、認定農業者に対して、各種助成制度の活用を促進し、育成、確保を図っていく。
			目標			29	29	30	30	30	31	
			実績	28	28	31	34					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 制度資金の利子補給・利子助成の実施（農業近代化資金借入に対する法人の利子補給実績：上期 15件、下期 15件・農業経営基盤強化資金借入に対する法人の利子助成実績：上期1件、下期1件）や国等の助成制度の周知等を行った。 市が認定した法人のほか、広域認定（埼玉県認定）を受けた法人が2経営体あり、目標を達成することができた。									

施策 3 新たな人材の確保・定着

取組項目 1 新規就農者・農業後継者の確保

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	新規就農認定者数(4月1日現在) (人)								
3 ・ 3 ・ 1	新規就農者・農業後継者の確保 新規就農者育成事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・引き続き、新規就農者の認定及び認定に向けた周知や説明を行い新規就農者の増加を図る。
			目標			10	10	10	10	10	10	
			実績	10	10	12	13					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 市、国等の助成制度による農業用機械等の取得支援などを行うとともに、埼玉県農業大学校と連携し、6月にWEB形式により就農希望学生と情報交換や個別相談を受け付けた。また、市役所窓口で年間16件の就農相談を受け個別に対応を行うなどに取り組んだ結果、新たに6人の青年等就農計画の認定に至り、新たな担い手を確保できたこともあったため、目標値を達成することができた。									

取組項目 2 新規就農者・農業後継者の育成

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	加須の農業担い手塾延べ受講者数(累計) (人)								
3 ・ 3 ・ 2	新規就農者・農業後継者の育成 新規就農者育成事業	3 やや遅れている	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・農業に興味、関心が高い市民を対象に農業担い手塾を開講し新規就農者の確保を図る。
			目標			105	120	135	150	165	240	
			実績	60	0	70	81					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 加須の農業担い手塾(全15回)を開講し、11名の塾生に基礎知識と基本技術の講義・実習を行った。受講者が農業に関心が高く、積極的に担い手塾の講義・実習に参加していた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は中止、令和3年度に引き続き、令和4年度においても募集人数を半数の10人程度としたため目標値に至らなかった。									

取組項目 3 新規就農者等への包括的支援

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等		
			指標(単位)	新規就農支援者数 (人)								
3 ・ 3 ・ 3	新規就農者等への包括的支援 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)	・引き続き、助成事業等の新規就農者育成関連事業を実施することで、新規就農者のサポート及び経営安定の支援をする。
			目標			4	4	4	4	5	5	
			実績	4	2	9	7					
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 市単独の助成事業(農業用設備又は農業用機械の取得助成)については、認定新規就農者の積極的な活用があり3人に補助金を交付し、国等の助成制度として、営農開始資金、農業次世代人材投資資金*令和4年度名称変更(就農直後の経営確立に必要な資金の支援)については、継続者2名のほか、新たに1名についても交付を開始し、経営継承・発展支援事業(経営継承後の経営を発展させる経営発展計画に取り組む後継者の取り組みにかかる経費の支援)について、1名が補助金を活用した。以上の取組により、目標値を達成することができた。									

施策 4 スマート農業の推進

取組項目 1 スマート農業の推進

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	スマート農業に取り組むモデル経営体の育成件数 (件)							
3・4・1	スマート農業の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			1	1	1	2	2	5
			実績	0	0	1	2				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 北埼玉スマート農業研究会が実施する研修会を通じて農家への情報提供等を行い、スマート農業の普及を推進した。 埼玉県スマート農業普及推進事業モデル経営体として、(株)おやお農園(北川辺地域)がロボット田植機による自動走行の実証実験を実施し、作業時間や人員の削減効果と効率化を検証する取組を行った。また、(株)はぎはら農園(北川辺地域)がロボットトラクタの導入による耕耘作業の省力化及び効率化、フラソイラ及びレベラー作業の高精度化の実証実験を実施する。以上の取組により、目標値を達成することができた。								
<ul style="list-style-type: none"> ・労働力不足改善のための省力化、農作業の省力化及び効率化、コスト削減に向けたスマート農業の導入を促進する。 ・ロボットトラクターや自動操舵等を導入し、スマート農業に取り組む経営体の支援を行う。 											

施策 5 多様な主体が農業を支える環境づくり

取組項目 1 企業の農業参入の推進

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	企業参入の相談件数(累計) (件)							
3・5・1	企業の農業参入の推進 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			1	2	3	4	5	10
			実績	1	2	3	4				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 加須市内で新たに起業し、農業を実施しようとする企業に対して、法人所在地等の候補地の提案を行うことができた。 相談実績内訳：令和元年度 1件、令和2年度 1件、令和3年度 1件、令和4年度 1件								
<ul style="list-style-type: none"> ・新規に企業が参入する適地を検討しつつ、県や関係団体と連携し、企業参入を推進する。 											

取組項目 2 多様な農業人材の発掘

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	「加須の農業担い手塾」卒業生の就農者数(累計) (人)							
3・5・2	多様な農業人材の発掘 担い手育成支援事業	1 目標を達成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			12	14	16	18	20	30
			実績	11	11	12	14				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 加須農業担い手塾(第7期)の卒業生11名のうち2名の方が、新たに就農することとなり、目標を達成することができた。また、卒業生の中には、農業技術向上のために受講した方もいる。								
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「加須の農業担い手塾」を実施し、地域農業の新たな担い手の育成を図る。 											

第2次加須市農業振興ビジョン 進行管理調書（実施状況報告書）

基本方針 4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現（地産地消等）

施策 1 地産地消の推進

取組項目 1 直売施設の充実

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	農産物直売所の地元農産物売上額 (百万円)							
4 ・ 1 ・ 1	直売施設の 充実 地産地消推 進事業	2 概 ね 達 成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			315	316	317	318	319	324
			実績	314	313	321	314				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 3月に実施した直売農家めぐりに関して市内の直売所を訪問し、参加者に地元農産物等を紹介するとともに、直売所の生産者組織に対し定額の支援を行った。道の駅童謡のふるさと大利根直売所及び加須未来館直売所における地元農産物の売上額が令和3年度を上回ったが、当該直売所以外の売上額は令和3年度を下回ったこともあり、市内農産物直売所（6カ所）の地元農産物の売上合計額が目標値に達しなかったものの、約99%を達成した。								
<ul style="list-style-type: none"> ・市内商工業者、消費者団体等と連携しての地産地消の推進方法を検討する。 ・販路拡大のために市イベント等への出店を支援する。 											

取組項目 2 市内での地場農産物の活用促進

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	学校給食に提供した地元農産物の割合 (%)							
4 ・ 1 ・ 2	市内での地 場農産物の 活用促進 地産地消推 進事業	1 目 標 を 達 成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			17	18	18	19	19	22
			実績	17	18.3	20	21.1				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 コロナ禍等における物価高騰の中で、学校給食費の保護者負担を増やすことなく、給食の質等を維持するとともに、地産地消を推進することができた。								
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校給食センター等と連携を図り、出荷可能な農産物や仕入先（生産者等）の情報共有することにより、地場産野菜の使用量の拡大を目指す。 											

施策 2 農業とのふれあい創出

取組項目 1 市民農園の適切な運営

【評価】は4段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている）

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	市民農園利用区画数 (区画)							
4 ・ 2 ・ 1	市民農園の 適切な運営 市民農園管 理運営事業	1 目 標 を 達 成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			340	343	346	349	352	355
			実績	337	339	343	344				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 加須地域及び北川辺地域の市民農園を適正に管理するとともに、グリーンファーム加須における各種講座等の開催や広報紙等を通じて市民農園利用の周知を行った。市民農園として利用可能な355区画（加須地域:233区画・北川辺地域:122区画）のうち、344区画（加須地域:232区画・北川辺地域:112区画）が利用されたため、目標値を達成することができた。								
<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の利用区画数の検討 ・グリーンファーム加須での各種講座等の市民への周知 											

取組項目 2 農業体験機会の提供

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	農業体験講座等参加者数 (人)							
4・2・2	農業体験機 会の提供	3 やや遅 れている	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			650	660	660	670	670	700
			実績	664	0	0	359				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 新型コロナウイルスの影響により中止していた農業体験講座(水稲づくり体験、さつまいも づくり体験、大根づくり体験、春じゃがいもづくり体験)、ふれあい料理講座(手作り味噌講 座等12講座)、ふれあい工芸講座(ラベンダーのポプリ等5講座)については、令和4年度 に再開したが、新型コロナ対策として講座の募集人数を概ね半数程度に減らしたため、目標値 に達成しなかった。								
施策 3 農業・農地の多面的機能の推進と理解促進 取組項目 1 地域活動団体への支援											

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	多面的機能支払交付金活動組織数 (団体)							
4・3・1	地域活動団 体への支援	1 目標を達 成	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			37	37	37	38	38	40
			実績	32	36	36	37				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 事業の継続的な周知を行ったことにより1団体の新規組織が設立され、事業に取り組む対象 面積が約54ha増加するとともに、農地の多面的機能の向上を図る活動組織数については、目 標値を達成することができた。なお、活動組織37団体に対して適切な指導・支援を行うこと により、円滑に事業を進められるようサポートをした。 また、令和5年度から新たに活動を始める組織に対して説明会等を実施した。								
取組項目 2 市民理解の促進											

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	パブリシティでの掲載回数 (回)							
4・3・2	市民理解の 促進	4 大幅に遅 れている	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			16	16	16	16	17	17
			実績	14	5	4	7				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 パブリシティを20回実施し、報道機関に7回掲載されたことにより市内農産物やイベント 等をPRすることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの農産物直売イ ベントの出店を中止したことも影響し、目標値を下回った。								
4・3・2	加須の農業 PR事業	2 概ね達 成	指標(単位)	パブリシティへの情報提供回数 (回)							
			年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			24	24	24	24	25	25
			実績	22	15	19	20				
【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 パブリシティを実施し、市内農産物等を市内外にPRしたが、新型コロナウイルス感染症拡 大防止のため多くの農産物直売イベントの出店を中止したことも影響し、目標値を下回った。 ただし、パブリシティのほか、青空市場の実施や各地域で開催される農業まつり等の運営に対 する支援、本庁舎玄関ホールへ花卉と養殖魚を展示し、本市農産物等のPRを行った。											

施策 4 他産業との連携強化

取組項目 1 商工業との連携

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	年間企業訪問件数 (件)							
4 ・ 4 ・ 1	商工業との 連携 産業連携推 進事業	3 や や 遅 れ て い る	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			50	50	50	50	50	50
			実績	49	7	37	36				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 企業訪問や各種セミナーへの参加を通じて、産業振興に向けた課題について研究を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、積極的な企業訪問ができず左記の評価とした。								
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、企業訪問や各種セミナーへの参加を通じて、産業振興に向けた課題について研究を行う。 市内企業の代表者等によるビジネス懇談会の開催を検討する。 											

取組項目 2 教育分野との連携

【評価】は4段階評価(1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている)

No	取組項目 事務事業名	評価	【上段】成果・目標指標 【下段】評価の分析							分析を踏まえた改善点・ 今後の取組内容等	
			指標(単位)	学校と協働して実施した事業数 (事業)							
4 ・ 4 ・ 2	教育分野との 連携 かぞグルメ 協働事業	3 や や 遅 れ て い る	年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (目標年)	令和12年度 (目標年)
			目標			4	4	4	4	4	4
			実績	4	0	1	3				
			【指標に関する決算年度の取組内容及び評価に対する分析】 令和4年度の「食と健康づくり」をテーマとした産学官連携事業として、地元の花咲徳栄高等学校食育実践科、平成国際大学女子硬式野球部、株式会社丸武の他、人間総合科学大学との連携により、加須産米「彩のかがやき」と、かぞブランド認定品「香の豚」を使用した弁当を開発。株式会社丸武にて商品化され、現在スーパーまるだけ2店舗で販売、グルメイベントにも随時出店した。このほか、花咲徳栄高等学校と連携し、トマトの収穫体験等の3事業を実施したが、目標を達成することができなかったため、左記の評価とした。								
引き続き、市内の高等学校や大学、市内飲食店をはじめとする事業所との協働事業の実施を検討する。											